

到達目標	レベル1(臨床経験1~2年)蓄から開花	レベル2(臨床経験3~4年)三分咲き	レベル3(臨床経験5~7年)五分咲き	レベル4(臨床経験8~10年)八分咲き	レベル5(臨床経験10年以上)満開
看護実践能力	<p>病院の理念を理解し、基本的な看護(マニュアルに従い)を実践することができる。</p> <p>1 基本的な看護が提供できる 1) 対象が安心して外来受診を終了することができる 2) 正常な妊娠経過を把握し、妊婦の思いを受け止めることができる 3) 付き添う家族に対して配慮ができる 4) 妊娠経過に応じた基本的な保健指導が実施できる 5) 診療・検査が安全かつ円滑に終了するように看護が実施できる 6) ロールリスク産婦に助言を受けながら主体的に分娩介助ができる 7) 褥婦・新生児の経過診断ができる 8) 基本的な看護計画が立案・評価できる 9) 正常な褥新へ安全に看護が実践できる 10) 1か月健診時の児の発育状態を診断できる 11) 1か月健診時の乳房の状況を助言を受けながら看護が実施できる 2 他部門との連携の必要性が意識できる 3 社会資源の活用を意識できる。</p>	<p>病院理念を理解し、ローリスク対象の看護を実践できる。</p> <p>1 ローリスクの対象の個別的な看護ができる 1) スムーズな外来診療が行えるように、周囲の行動に押領できる 2) 外来にて支援が必要な外来受診者を察知し看護を実施できる 3) 正常な妊娠経過に沿っている対象に個別的な保健指導ができる 4) 家族参加型の支援が意識でき、信頼関係を築くことができる 5) ローリスクとハイリスクの判別ができる 6) ローリスクの対象に応じた看護が実施できる 7) 個別性を踏まえた看護計画の立案・評価を助言をうけながら実施できる 8) ハイリスク対象の問題点に気づき、助言を受けながら看護を実施できる 9) 1か月健診時の母子へ看護が実施できる 10) 緊急時の状況に対して、助言を受けながら行動できる 2 他部門との連携がとれる 3 社会資源の活用方法がわかる</p>	<p>病院の理念を視野に入れてどのような対象においても看護を実践できる。</p> <p>1 専門的な技術・知識を用いてどのような対象にも看護が提供できる 1) 対象に応じた外来診療の支援が実施できる 2) 外来の環境・物品管理が行える 3) ハイリスクへの移行を予測し、報告できる 4) ハイリスクの状況に応じて看護が実施できる 5) 個別性を踏まえた看護計画の立案・評価が実施できる 6) 看護計画・実践の助言・指導ができる 7) 緊急時に中心的役割がとれる 8) 見本となるコミュニケーションスキルで対応できる 2 社会資源を活用できる 3 助言を受けながら院内助産に関わることができる</p>	<p>病院理念を念頭にどのような対象においても社会的資源を活用、連携した看護が実施できる</p> <p>1 看護実践のロールモデルとしての行動がとれる 1) 外来診療の専門性を理解した質の高い看護を実践できる 2) あらゆる対象の個性を捉えて看護が実施できる 3) ハイリスクへの移行を予測し防止する看護が実施できる 4) 潜在するニーズや問題を抽出し、看護につなげることができる 5) 同僚・対象・家族とより良い、パートナーシップが築ける 2 アサーティブ・コミュニケーションがとれる 3 必要な社会資源を活用し、保健福祉との連携がとれる 4 院内助産の運営ができる</p>	<p>指導的立場で看護の実践ができる</p> <p>1 専門性・創造性をもった看護が展開できる 1) 外来・病棟の運営ができる 2) 専門的な知識を用いて看護実践全般の指導ができる 3) 部署全体の状況を把握し、対応できる 4) スタッフのアドバイザーとなる 2 院内におけるあらゆる場面で、リーダーシップがとれる 3 院外においても中心的役割を担える 4 助産院を開設できる</p>
	役割遂行(社会性・倫理的感応力)・マネジメント能力	<p>病院組織の一員として意識を持つことができる。看護師・助産師倫理綱領を理解する。</p> <p>1 病院の理念、看護部の理念・目標が理解できる 2 職務規定を理解し遅刻・欠勤をしない 3 報告・連絡・相談の必要性がわかる 4 社会人として自分の行動・言動に責任を持つ大切さがわかる 5 チームメンバーの一員として協働の意識が持てる 6 同僚や他職種とのコミュニケーションができる 7 日常業務において、問題意識を持ち発言できる 8 指導を真摯に受け止めることができる 9 安全管理・感染対策・防災管理について学び、理解できる 10 看護師・助産師倫理綱領は看護師助産師の行動指針であることを理解できる</p>	<p>病院組織の一員としての認識を持ち、看護師・助産師倫理綱領を意識した行動がとれる。</p> <p>1 病院の理念、看護部の理念・目標の達成のために活動ができる 2 服務規定に沿って行動し、手本となることができる 3 社会人として自分の行動・言動に責任を持てる 4 メンバーの役割を理解し、メンバーシップが発揮できる 5 リーダーシップの役割を知ることができる 6 組織を理解して、報告・連絡・相談ができる 7 カンファレンスを運営し、積極的に意見交換ができる 8 協働で目標達成することができる 9 安全管理・感染対策・防災管理に沿って行動できる 10 看護師・助産師倫理綱領を理解し、倫理問題に気づくことができる</p>	<p>病院組織の一員として、部署内でリーダーシップをとることができる。他部署との連携をとることができる。看護師・助産師倫理綱領を意識した行動がとれる。</p> <p>1 病院の理念、看護部の理念・目標の達成のためのリーダーシップがとれる 2 他部署との協働を図ることができる 3 主体的にカンファレンスを運営することができる 4 看護業務に責任を持ち業務改善について意見を述べることができる 5 医療チーム内での信頼関係が築ける 6 安全管理・感染対策・防災管理マニュアルを理解し指導できる 7 倫理問題に直面した場合、どうすべきか判断し実践することができる</p>	<p>病院組織の一員として、他部署との連携において、リーダーシップを発揮する。自分自身の専門職業人としての倫理観が持てる。</p> <p>1 病院の理念を念頭に職場風土の向上にむけた働きかけができる 2 病院運営への参画意識が持てる 3 常に協働の意識をもって、行動できる 4 カンファレンスの運営について指導できる 5 所属の委員会や会議での推進役となることができる 6 安全対策・感染予防の視点で部署における問題を考えることができる 7 倫理問題に対し教育的役割を果たすことができる</p>
自己啓発・専門的自立能力	<p>専門職業人であることを意識し、日々研鑽することの必要性を理解できる</p> <p>1 専門職として自己開発・研究の必要性を理解できる 2 専門職業人としてのアイデンティティを意識できる 3 院内外の研修会に参加し知識・技術・態度を高めることができる 4 社会人としての常識を持ち、良い接遇ができる 5 日々の行動を振り返り、整理することができる 6 他者の助言を真摯に受け止め、自己の課題がわかる</p>	<p>専門職業人であることを意識し、日々研鑽することができる。院内をフィールドとして、調査研究ができる。</p> <p>1 看護・助産研究の意義と目的を理解し、指導を受けながら研究を実施できる 2 自己の課題を明確にし、解決のために取り組むことができる 3 専門職業人としてのアイデンティティを持つことができる 4 院内・院外の研修に参加することができる 5 学生指導に携わることができる 6 指導を受けながら、プリセプターの役割がとれる</p>	<p>専門職業人であることを意識し、日々研鑽することができる。院内をフィールドとして、調査・研究し、院外に報告できる。</p> <p>1 日常の看護実践に対して問題意識を持ち、研究に取り組むことができる 2 院外での研究発表ができる 3 専門職業人としてのアイデンティティが確立する 4 学生指導・プリセプターの経験から自己研鑽ができる 5 自己の課題を解決することができる</p>	<p>専門職業人であることを意識できる。他施設と連携し、調査・研究し、当院のケアの質の向上に努めることができる。</p> <p>1 自己のキャリアを踏まえ、計画的に院内・院外での研修に参加できる 2 専門分野を深めるための研究ができる 3 専門職業人としての長期目標が立てられる 4 学生や新人スタッフに対して、個性を重視した適切な指導ができる 5 学生指導者・プリセプターへの指導ができる</p>	<p>専門職業人であることを意識できる。調査・研究のスーパーバイザーを務めることができる。</p> <p>1 看護研究を通して専門性を高めることができる 2 自分のキャリア開発プログラムを考案することができる 3 組織で取り組むべき勉強会・研修会などの企画運営ができる 4 上司と協力してスタッフの能力開発、成長を支援することができる 5 研究のスーパーバイザーとなることができる</p>